



ニューヨーク補習校だより



令和8年（2026年）5月16日 第3号 校長 河村 武磨

授業参観・子どもの学び合う姿！

それぞれの学校で、授業参観・懇談会が始まっています。保護者の皆様にはご参観いただき、ありがとうございます。本日そして23日と引き続きありますので、ぜひご参観ください。

さて、その授業参観では、子どもたちが真剣に学習に取り組んでいる姿をたくさん見ることができます。私は先週W校に勤務し3年生、5年生、6年生の授業を参観しました。

3年生の国語の学習では、国語辞典の使い方の学習をしていました。まず一人で国語辞典を使って言葉見つけをして、その後席を立てて友だちと自由に学び合う場面がありました。「ねえ、みつかった？おたすけしようか？」相手の気持ちを察しながら優しく尋ねる姿が見られました。また、他のクラスでは、ペアでお互いに自分の作った文を説明し合っていました。グループで発表をして質問をし合っているクラスもありました。

5年生の国語の学習では、ワークシートを使って「私の春」という題で自分の表現をつくり、それをグループで交換して見合い感想を伝え合う学習をしていました。他のクラスでは授業の終わりに、まとめや振り返りを行って学んだことを整理している取組も見られました。

6年生の国語の学習でも、先生が短冊カードをたくさん用意してそれに自分の考えをどんどん書き込んでいき、グループで見合って参考にするという活動を行っています。

こうした学習活動は、日本の公立学校で推奨されている学習方法です。日本を遠く離れた、このニューヨーク補習授業校でこうした、「一人学び」と「学び合い」が行われていることは素晴らしいことだと考えます。

友だちと一緒に考えたり、教えてもらったり教えたりという活動は、子どもたちの学習意欲を向上させ、互いの理解を深めることにとても有効です。こうした学びを積み重ねていくことで、本校の教育方針「助け合い、高め合う教育活動」が具現化されていきます。多様な子どもがいる補習授業校だからこそ互いに助け合い、学び合い、高め合う学習活動を充実させていきたいと考えています。



「週刊 NY 生活」硬筆書写コンクール夏期課題発表

「週刊 NY 生活」の硬筆書写コンクール第 62 回夏期課題の発表がありましたのでお知らせします。個人で応募することができますが、本年度も学校に提出していただければ、校長が取りまとめて応募します。幼児の部から高校・一般の部までの部門がありますので、補習校の全員が応募することができます。学校を通して応募する場合は、6月20日（土）までに学級担任に提出してください。

●小学1・2年の部

にわに、大き
な赤い花が三
本さきました

字がマスからはみ出さないように気を
付けながら「縦画、横画」とめ、はね
はらい」を丁寧に書きましょう。

●小学3・4年の部

ひと雨ごとに美
しい花がさき、
心地よい風に乗
って夏が来る。

小さな点画もしっかり書きます。落ち
着いて書いた字は丁寧に書き上がりにつ
ながります。

●小学5・6年の部

春は桜、夏はひまわ
り、秋はコスモス、冬
は寒梅と季節を代表
する花達は、姿や香
りで広く親しまれてい

正しい字は正しい書き順が最も大切で
す、上手に書くことよりも丁寧に書くこ
とを心がけて。

●幼児の部

はながさく

鉛筆をしつかり持って、ゆつくりと大
きな字を書きましょう。

●中学の部

花は独自の姿や色で
咲き誇り、多種多様
の美しさで私達の心を
和ませてくれる。
花は国境を超え、平
和の象徴でもある。

行頭を揃え、文字間を均等にし、文字
の中心がずれないように配慮しながら書
きます。

●高校・一般の部

花は盛りに
月は隈なきをのみ
見らるるかは
散りぬる後
または散りぬるさほどの情も
おもしうさはささなり
徒然草 兼好法師

連綿の流れの方向や点画の向きなど、
細部の書き表しが作品の仕上がりを左右
します。我流ではなく、お手本に沿った
書き方を心がけて。

募集要項と各部のお手本、規定応募用紙を本校ホームページの【在校生向けページ
各種コンクール案内、応募要項】にアップロードしましたのでご覧ください。

海外子女文芸作品コンクール応募にあたって

学校提出しめきり 6月6日

本年度も5月2日付けで案内を配付しました。毎年度、学校として積極的な取組を呼び掛けています。テーマは、海外生活を題材にしたものであれば自由です。審査基準は「海外生活での新鮮な感動・実感や経験を踏まえたもので、適切な表現がなされた作品」です。アメリカでの生活を題材としていれば、何を書いてもよいことになります。誰にでも書ける内容でなく、自分だからこそ書ける内容を選んでほしいと思います。「したこと」「見たこと」「聞いたこと」よりも「思ったこと」「感じたこと」を表現すること、自分の素直な気持ちを書き表すことを保護者の皆様からもアドバイスしていただけたらと思います。